

取材先	NPO法人シンフォニーネット		
企画名	活動紹介		
備考			
取材日	2025年5月21日(水) 天候[晴れ] [10:30~11:00]	取材地	mimihana カフェ

レポ

NPO法人シンフォニーネットは、知的障害のあるお子様が2人いたことから、1999年に施設長が「親の会」を立ち上げたことがきっかけに始まった。その集まりはやがて2007年にNPO法人となり、2015年には「mimihana カフェ」を開業し、行政・医療・教育・地域の企画など関係各所の支援を受けながら自閉症・発達障害児(者)のための様々な活動を行っている。

NPO法人シンフォニーネットの「mimihana カフェ」やその2号店である「はなさき」では、ランチ・ドリンク・スイーツ・焼き菓子や雑貨を販売していた。就労継続支援B型事務所でもあるため施設には40名の利用者と13名のスタッフがおり、施設利用者の方々と支援者の方々が共同で、調理・雑貨作り・ラベル貼り・パソコン業務など様々な仕事を行っており、それぞれが自分のペースに合った働き方ができるようになっていた。その他にも、子ども食堂やリサイクルなど様々な活動を行っており、Instagramでも発信していた。

ここでは、利用者の方々が働きやすいように写真付きの説明が使われているなどの多くの工夫が見られ、施設内のあらゆる場所に利用者の方や他の方が描いたイラストが飾られ、また、利用者の方々の長所を肯定する雰囲気があったりと、利用者の方々が温かい雰囲気の中で自立に向けて自信を育んでいる様子が印象的だった。また、昨年には利用者2名が就職できたそうで、自信がついていくと表情が良くなったり服装が変わっていったりするという話を聞き、このカフェのように多くの方々が協力や支援をし合い、それぞれが自身をアップデートさせるような施設がもっと必要なのかもしれないと考えさせられた。

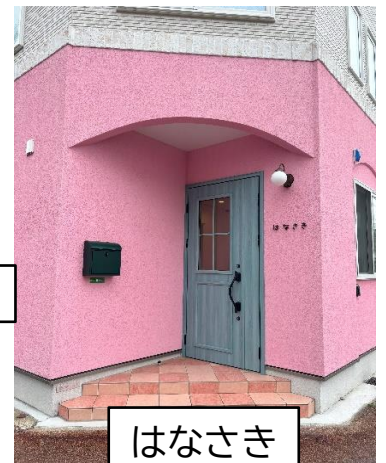
状況写真



mimihana cafe



キッチンの利用者用説明



はなさき



販売しているもの

